

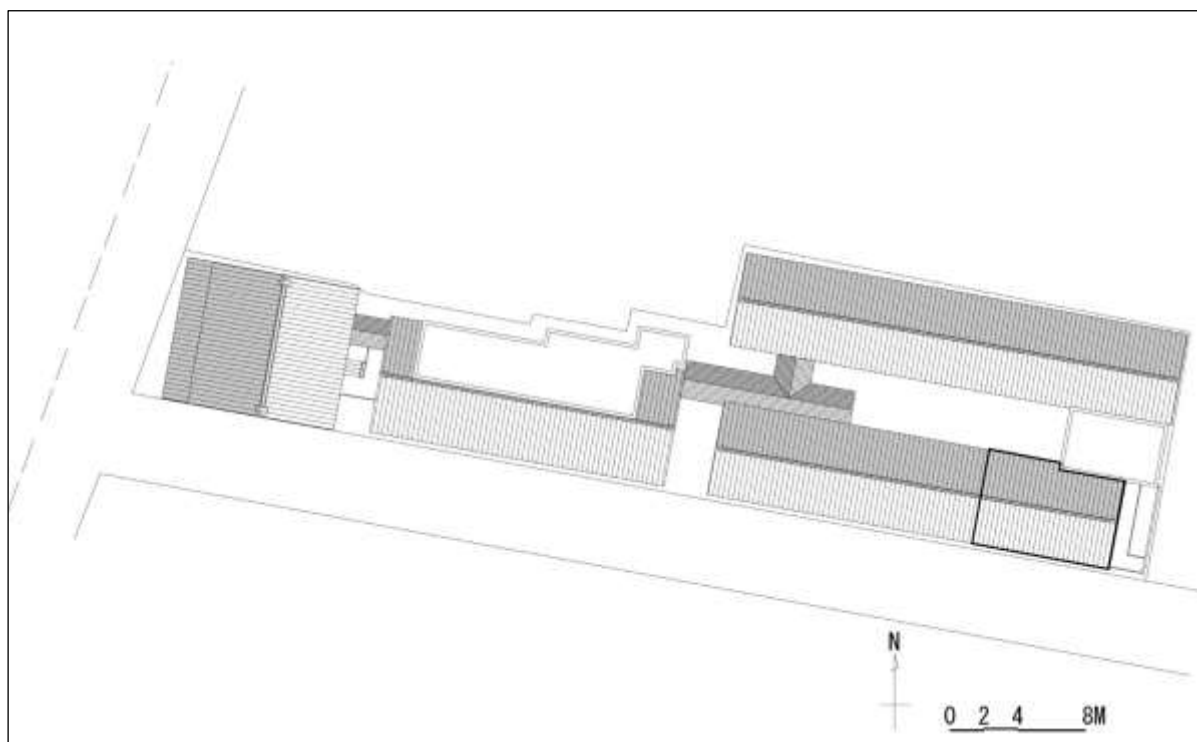
歴史的風致形成建造物 指定台帳

指定番号	8	名称	とちぎ蔵の街観光館 南蔵2 (荷蔵2)
指定年月日	令和2年3月11日	所在地	栃木市万町340番地1
所有者氏名	栃木市長 大川秀子	所有者住所	栃木市万町9番25号
建築年代 (根拠)	明治32年(1899)建築 (普請帳)	規模・構造	木造 瓦葺 2階建
特徴等	<p>大通りの東側、神明宮に通じる路地の北角に位置するとちぎ蔵の街観光館は旧田村家の建物で、豪壮な見世蔵と文庫蔵、2棟の荷蔵からなる。</p> <p>田村家は、かつては「八百金」の名で知られた栃木でも有数の麻荒物商であったが、戦後になって商売をやめ、一時期店舗を人形店に貸与していた。その後栃木市に土地は売却、建物は寄贈され、改築・改修を経て平成11年(1999)からとちぎ蔵の街観光館として活用されている。</p> <p>かつては、見世蔵に続いて住居と現存する土蔵群の北側にさらに3棟の土蔵が連なっていたが、腐朽が進行していたために改築された。いずれの建物も小屋裏の墨書あるいは田村家所蔵の『普請調上帳』によって建設年代が判明している。見世蔵が明治37年(1904)6月起工、明治38年(1905)上棟、文庫蔵が慶応4年(1868)上棟、2棟の荷蔵が明治28年(1895)及び明治32年(1899)起工である。</p>		
形成する歴史的風致 (指定理由)	<p>商家町栃木にみる歴史的風致(物資の集散による問屋業の発展にみる歴史的風致)かつての荒物・麻問屋といった問屋業を営んでいた頃の建造物で、物資の集散による問屋業の発展を物語っている。</p>		
備考			





とちぎ蔵の街観光館 案内図



配置図